

# 皆さまから寄せられたご意見

～意見要旨（案）～フェーズ3においても多様なご意見が寄せられました

ご意見の募集期間は、平成28年7月の「環境影響等に配慮した方策」公表以降に、説明会（平成29年1月～5月までの間に開催）で寄せられたご意見、会場内で配布した意見記入ハガキ（コメントカード）、および後日郵送による返送、「羽田空港のこれから」ホームページからのご意見、特設電話窓口からのご意見、郵送など、平成29年5月10日までの意見を対象としました。

## 〈ご意見の整理方法〉

意見要旨は、皆さまより寄せられたご意見から、主張や要望の理由となっている皆さまの関心事に着目して整理し、国土交通省が受け取った内容を取りまとめたものです。少数の意見であっても配慮すべき関心事にはしっかり着目する必要があるため、意見の多寡にとらわれず整理しています。意見要旨をご覧になり、重要な意見が漏れているとお感じの方は、ホームページや特設電話窓口、次の説明会にて是非ご意見をお寄せください。

○の意見要旨：フェーズ3で新たに見られた意見要旨  
その他の要旨中の下線部：フェーズ2までの意見要旨から変更・細分化された部分

## 1. 羽田空港国際線増便の必要性と実現方策

### 羽田空港国際線増便の必要性

- 【国際競争力の強化】
  - 国際競争力、都市機能の向上やグローバル化に向けて、羽田空港の機能強化に期待している。
  - 国際ハブ空港を目指して発展して欲しい。
  - 騒音や安全性への懸念などにより、むしろ首都圏の競争力・魅力が低下するのではないかな。
- 【経済活性化、ビジネス機会、就労機会】
  - 経済発展のためには羽田空港の機能強化は必要だと思う。
  - 住民の生活よりも経済を優先させる計画には納得がいかない。
- 【地方活性化、ビジネス機会、就労機会】
  - 地方活性化を目指すならば、直接地方空港を活用すべきではないかな。
- 【観光、インバウンド】
  - 訪日旅行者数の増加が期待できる。
  - 訪日旅行者数の増加に対応するため羽田空港の機能強化は必要だ。
  - 訪日旅行者数の動向にはリスクがある。需要や伸びを過剰に見積もっているのではないかな。
- 訪日旅行者数の増加や利便性向上よりも、住民の生活環境を重視して欲しい。
- 【海外渡航の利便性（アウトバウンド）】
  - 海外への渡航がより便利になり、海外旅行等の機会が増える。
- 【オリンピック・パラリンピックとの関連】
  - 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて機能強化は重要である。
  - 東京オリンピック・パラリンピック大会を理由に機能強化することは疑問である。
  - 増便するのは東京オリンピック・パラリンピック大会期間限定にしてほしい。
- 【人口減少】
  - 人口が減少し需要が下がっていくのに、増便をする意味があるのか疑問だ。
- 【成田空港との連携・住み分け】
  - 羽田空港だけでなく、成田空港の機能強化も検討してほしい。
  - 羽田空港の機能を強化しなくても、更なる増便やアクセス改善等により成田空港をもっと活用すれば十分ではないかな。
  - 羽田空港と成田空港との機能分担を踏まえた検討が必要ではないかな。
  - 成田空港だけでなく、羽田空港にもLCCを多く就航させてほしい。
  - 羽田空港と成田空港とが一体的に運用することを考えた上で、機能強化の方法を検討する必要がある。
  - 成田空港と連携するため、羽田-成田間の交通アクセスを良くしてほしい。
- 【他空港との連携、機能分散等】
  - 羽田空港の機能強化と併せて、他の空港を活用する必要がある。
  - 羽田空港は既に過密状態で、これ以上の発着回数の増加は難しいのではないかな。
  - 羽田空港のみに集中させず、周辺の地方空港を活用してほしい。

- 【新空港の建設】
  - 羽田空港の機能強化ではなく、首都圏に新たな空港を建設すべきだ。
- 【横田基地等の活用】
  - 横田や厚木などの基地を活用する方法は考えられないかな。
- 【新幹線や船舶などの交通モード活用による機能分散】
  - 国内移動は飛行機だけでなく新幹線、船舶などの他の交通手段を活用して、分担すれば良いのではないかな。
- 【今後の更なる機能強化への期待】
  - 将来的には今回の提案以上に便数を増やし、さらなる機能強化をはかってほしい。
  - 深夜・早朝時間帯などもさらに活用してほしい。

### 羽田空港国際線増便の実現方策

- 【飛行経路・滑走路運用・空域等の変更】
  - 新飛行経路案以外の経路はないかな。
  - 説明を聞いても、やはり住宅密集地上空の飛行には納得できない。
  - 新飛行経路の検討において、横田空域の影響を受けているのではないかな。空域の変更や拡大などにより、多様な経路が検討できるのではないかな。
  - 他の時間帯を活用すれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないかな。
  - 搭乗率を上げれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないかな。
- 【滑走路増設】
  - 抜本的な課題解決のためには、新たな滑走路増設とそれに合わせた飛行経路見直しの検討が必要ではないかな。
  - 滑走路を増設すれば、飛行経路の見直しは不要ではないかな。
- 【国際線と国内線の枠のバランス】
  - 国内線の便数を減らして、それで国際線を増やせばよいのではないかな。
- 【その他】
  - これまで沖合展開などで騒音軽減を図ってきた歴史に逆行するのはではないかな。
  - この提案でも国際線はそこまで増えない。根本的な解決にならない。

### 提案方策に関わる心配、懸念

- 【音】
  - 朝早い時間や夜遅い時間の発着による騒音が心配だ。
  - 騒音が気になる。
  - 大型機による騒音が心配だ。
  - 住宅地やオフィス街を飛行するので、騒音影響が心配だ。
  - 学校や医療機関、研究施設への影響が心配だ。
  - 病人や乳幼児、障がい者等の弱者への影響が心配だ。
  - 今までなかった騒音が発生し、生活環境が大きく変わるのはないかなと心配だ。
  - 高速道路や飛行機などによる現状の騒音に、新飛行経路による飛行機の騒音が加わることで生活環境が更に悪化するのではないかな。
  - 新飛行経路を飛行する頻度が多いのが気になる。

- 騒音などの影響はある程度はやむを得ないのではないかな。
- 騒音などの影響はあまり気にならないのではないかな。
- 説明会で体験した音が思っていた以上に小さかった/大きかった。
- 防音が不十分な建物にも配慮してほしい。
- 機密性の低い建物への騒音影響が心配だ。
- 高層ビルの高さや地形によって音の間こえ方が違うと思うので考慮してほしい。
- 商業やビジネスの中心地の上空を通るので、騒音による生産性やイメージの低下が心配だ。
- 【その他の環境影響】
  - 発着回数の増加による大気汚染や自然環境の悪化が心配だ。
  - CO2が増加し、地球環境温暖化への影響があることが心配だ。
- 【安全】
  - 新飛行経路は人の多い街中や住宅地を低空で飛行するので、事故によるリスクが高いのではないかな。
  - 工業地帯の上を通過するのはリスクが大きいのではないかな。
  - 飛行機同士が衝突する事故が起きないかな心配だ。
  - 増便や時間帯により経路を切り替えることで管制官の負担が増し、安全面への影響が出ないかな心配だ。
  - パイロット不足により安全運航に影響が出ないかな心配だ。
- 【落下物】
  - 飛行機からの落下物により被害が生じないかな心配だ。
- 【漠然とした不安】
  - 飛行機が低空を通過することに、圧迫感や不安、ストレスを感じる。
- 【不動産価値への影響】
  - 住環境が悪化するなどで不動産の価値が下がったり、入居者が減少することを懸念している。
- 【関連施設の混雑】
  - 国際線が増便されても国際線ターミナル施設や空港設備、アクセス機能が拡張されないと、混雑や利便性の低下が懸念される。
- 【将来的な影響拡大への懸念】
  - 将来的には運用時間帯が拡大されたり、発着回数の増加や更なる飛行経路の設定がされるのではないかなと不安である。
- 【高さ制限】
  - 経路下の建築物が高さ制限を受けるのではないかな。
- 【一般的懸念】
  - 国際線の増便は必要だと思うが、騒音や安全性には気をつけてほしい。
- 【その他】
  - 航空機による振動が心配だ。
  - 通信や電波障害などが心配だ。
  - 健康影響が心配だ。
  - 人の往来が増えることで、伝染病などのリスクが心配だ。
  - 飛行機がテロの標的とならないかな心配だ。
  - 軍事施設の上空・空域を飛行することは問題とならないかな。

### 賛否のみの意見（必要性、実現方策）

- 羽田空港の機能を強化し、国際線を増便することに期待する。
- 提案された飛行経路には反対だ。

## 2. 課題への対応方策（対策や運用方法の工夫等）

### 運用方法に関すること

- 【高度】
  - 離着陸時の飛行高度が少しでも高くなるようにしてほしい。
  - 高度の引き上げなど、音の影響を小さくするための方策の検討を続けてほしい。
  - 高度を引き上げる方策について、空港周辺では高度・音の影響は変わらないのではないかな。
- 【運用時間】
  - 新飛行経路の運用時間を短くしてほしい。
  - 新飛行経路の午後の運用は夕方限定し、夜遅くまで運用するのをやめてほしい。
  - 新飛行経路の運用時間や便数を厳守してほしい。
  - 提案されている夕方の時間帯であれば問題ないのではないかな。
- 【便数】
  - 新飛行経路の運航便数（頻度）が多すぎるので、できる限り減らしてほしい。
  - ピーク時の着陸料金を上げることで、国際線需要の分散をはかってほしい。
- 【飛行経路】
  - 騒音や安全性を考えれば、海や川の上など、できる限り住宅地や公共施設を避けた飛行経路とすべき。

- 飛行経路のブレを少なくしてほしい。
- 決められた飛行経路を遵守し外れることのないようにしてほしい。
- 飛行経路の設定・運用に当たっては、経路の分散も含めて、騒音負担の公平性を考慮してほしい。
- 着陸時の直線進入区間が長すぎる。もっと空港の近くで旋回するようにしてほしい。
- 【その他】
  - 現在の滑走路の向きを変えれば、陸上への影響を少なくできるのではないかな。
  - 現在問題点となっている経路の交錯箇所を避けるため、滑走路の配置そのものを見直しなさいか。

## 環境上の方策、その他の周辺対策に関すること

### 【騒音対策、その他の周辺対策】

- 騒音への対策をしっかりとしてほしい。
- 騒音の状況に応じて、防音サッシの設置などによる防音工事をしたり、費用の補助をしてほしい。
- 学校活動や病院などの医療活動への影響に配慮して欲しい。
- 現在の制度にとわられず、税の減免や補償金の支払いなどをお願いしたい。
- 新飛行経路による健康被害や経済的負担について補償してほしい。
- 騒音などの状況を踏まえて、補助する対象地域を広げてほしい。
- まちづくりや集会所の整備など、何らか地元へのメリットを示してほしい。
- 騒音等の被害により引越せざるを得ない場合には、移転補償を行ってほしい。
- 不動産価値が低下した場合、補償をしてほしい。
- 対策に税金を使うのではなく、増便による受益者や利用者へ負担を求め、影響を受ける地区にしっかりと還元してほしい。

- 防音工事はどのような施設が対象となるか示してほしい。

### 【機体】

- 騒音を抑制するために、大型機の制限を検討してほしい。
- より静かな機体の導入をぜひ進めてほしい。

### 【現飛行経路の騒音対策】

- 現飛行経路の騒音対策がなされないまま、新飛行経路が計画されるのは納得がいかない。
- 現飛行経路の騒音対策を更に講じてほしい。
- 現飛行経路について、早朝や夜間の騒音負担を減らしてほしい。
- 現飛行経路（特に悪天時飛行経路）について、緊急時の23時以降の到着をできるだけ少なくしてほしい。

- 新飛行経路と合わせて、現飛行経路や運用時間も見直ししてほしい。

- 現飛行経路について、経路を分散するなど、負担を公平にしてほしい。

### 【その他】

- ヘリコプターや軍用機などの騒音が大きい。安全性も心配だ。

## 3. 進め方（全体）

### 検討の進め方（動機、計画期間、決定主体等）

#### 【提案の動機】

- 説明を聞いても、国際線の増便が必要となる理由が理解できない。
- 2020年までという短期的な視点ではなく、もっと長期的なビジョンを持って検討してほしい。

#### 【検討期間、計画決定時期】

- 新飛行経路の開始時期はいつか。
- 新飛行経路が決定するのはいつか。
- 飛ばすことを決める前にこつこつ説明会をやるのは大変良い。
- 計画検討に時間をかけ過ぎではないか。国際線増便をできるだけ早く実現してほしい。
- 計画の検討にもっと時間をかけるべきではないか。

#### 【決定主体】

- 最終的な決定主体、決定方法をより明確に示してほしい。
- 国が決定するのではなく、住民投票などにより決定すべきではないか。
- 経路下の自治体の役割を明確にして、行政間の連携を図りながら検討を進めてほしい。
- 国がしっかりと検討し、決定していくべきだ。
- 国土交通省のみで検討決定するのではなく、政府全体で検討すべきである。

- 自治体の同意が得られていない中で、国が計画を進めようとしているのではないかと心配だ。

#### 【どこまで決まっているのか】

- 提案は既に決定した事項か。経路の変更はあり得るのか。

#### 【継続的なコミュニケーション】

- 今後も、継続的に説明会や対話の機会を設けてほしい。

### 検討の進め方（プロセス）

#### 【透明性】

- 計画内容を決定する際の検討内容、意見のまとめ方や住民対話の進捗状況について積極的に公表してほしい。
- 住民からの意見を行政内部でしっかりと共有してほしい。
- 意見や主な質問に対する回答は、ホームページ等を通じて幅広く共有してほしい。

- 新飛行経路検討の進捗状況を明確に示してほしい。

#### 【公正性】

- メリットとデメリットの両面について、客観的で公正性のある情報を示してほしい。
- 説明資料などで提供される情報やデータなどが意図的なものと感じられる。

#### 【受益と負担、公益性等のバランス】

- 国全体の利益に加え、日常生活に影響のある人のことも考えて、慎重に検討を進めてほしい。
- 飛行経路をできるだけ分散させて、特定の地域のみが負担を負わないようにしてほしい。
- 広範囲にメリットがもたらされるとしても、負担は飛行経路下の一部の住民に集中するのは不公平だ。
- 多くの人が負担を強いられる一方で、国際線増便のメリットは一部のみにしか及ばないのではないか。

- 音というよりも省エネ・環境保全の観点から、住宅の二重窓助成ができないか。それが結果的に防音にもつながる。

### 安全上の方策に関すること

#### 【安全対策の確実な実施】

- 万が一の事故もないよう、安全基準や運用の徹底をお願いしたい。
- 事故が起きないように、万全の対策を講じてほしい。

#### 【各分野の安全対策（機体、航空従事者、管制・空港など）】

- 機体整備やパイロットの定期的なチェックをより厳しくする必要がある。
- 外国の航空会社に対しても、国内航空会社と同等の安全監督を実施してほしい。
- 安全性の向上のために、パイロットや管制官等の教育や心身の健康検査を徹底してほしい。
- 安全性に疑問があるため、LCCの発着数は増えてほしくない。

#### 【落下物対策】

- 落下物対策をしっかりと行ってほしい。
- 車輪を降す際に落下物が生じることがあると聞いている。車輪を降す際のルールを決めておく必要があるのではないか。

#### 【万が一の場合の対応】

- 事故・トラブルが発生した場合にどう対処するのか、被害を最小限にできるようにしてほしい。
- 事故が起きた場合の責任の所在を明確にほしい。飛行経路を定めた国にも責任があることを肝に銘じてほしい。
- 事故が起きた場合の補償が、確実になされるようにしてほしい。
- 落下物により被害を受けた場合に、対応や補償がしっかりとされるようにしてほしい。

#### 【保安対策等】

- テロやハイジャック等の対策を強化する必要がある。
- 【その他】
- バードストライクに対する安全対策を徹底してほしい。

### 情報・相談窓口に関すること

#### 【モニタリング・飛行情報】

- 一部の住民の都合で反対しても、地域工になってしまうのではないか。

#### 【合理性】

- メリットに比べてデメリットのほうが大きいのではないか。増便に伴うコストと便益を比較して判断してほしい。
- 様々な案を検討してきた結果の提案とのことだが、複数の選択肢を同時に示すべきではないか。

### コミュニケーション方法

#### 【周知】

- 今回の提案について、もっと多くの人に周知すべきである。
- インターネットや広報紙、メディアの活用など、様々な手段を使い、説明会の周知を図る工夫が必要ではないか。
- 関連自治体との広報における協力体制を整え、周知を図ってほしい。

#### 【説明会の開催場所・日時・回数】

- よりきめ細かい開催してほしい。影響があるのに説明会が近隣で開催されない地区がある。
- よりアクセスが良く、よりスペースが広い会場で開催してほしい。
- 説明会の回数を増やし、時間帯の延長や週末開催なども行って、より多くの人が参加できるようにしてほしい。

#### 【意見の反映】

- 住民の意見をしっかりと聞き、反映してほしい。
- 説明会や意見収集等は、アリバイ作りではないのか。

#### 【説明や対話の手法】

- 機能強化の必要性や実現方策が理解でき、意見や質問が個別に言えるので、この様な説明会が開催されるのは良いことだ。
- 丁寧に住民説明、意見聴取を行い、不安の払拭に努めてほしい。
- 今回の説明を聞いて不安が解消し安心した。
- 住民間で意見共有がしにくい。集會型、教室型の説明会も開催してほしい。
- パネル展示型の説明会だけではなく、多様なコミュニケーション方法での対話等を更に充実してほしい。
- ホームページのコンテンツを更に充実させ、更新の頻度も高めてほしい。

#### 【その他】

- 職員への対応が丁寧で良かった。
- 質問に対して的確な回答が得られるように、知識と責任がある人に対応してほしい。
- 実際に体験しないと影響がわからないので、試験飛行（テスト飛行）を実施した上で意見を聞いてほしい。
- 特設電話窓口について、ナビダイヤルではなくフリーダイヤルにしてほしい。
- 意見要望が恣意的なものであってはならない。
- 不動産物件の紹介時に示せる資料があるとよい。

### 情報提供

#### 【更なる情報提供】

- 機能強化における新飛行経路の必要性をより詳しく説明することが重要である。

- 時間帯や場所を考慮して騒音を測定し、生活への影響を十分に調査してほしい。

- 飛行状況をしっかりとモニタリングし、高度やルートを遵守するようにしてほしい。

- 新飛行経路運用開始後も継続的なモニタリングをして、環境の変化を調査してほしい。

- 最近飛行機が上空を飛んでいるのを目にする機会が多くなったように思う。既に試験飛行を行っているのではないか。

- 飛行経路や運用情報をHP等でわかりやすく示してほしい。

#### 【相談・情報窓口】

- 騒音等についての苦情や問い合わせのためのわかりやすい窓口は必要であると思う。ぜひ設けてほしい。
- 電話口ではわかりにくいところもある。直接担当者と話ができる窓口を設けてほしい。

### 周辺環境・アクセスに関すること

#### 【周辺環境・まちづくり】

- 機能強化とともに、宿泊施設や交通インフラ、国際交流拠点等を整備するなど、周辺のまちづくりを進めてほしい。
- 羽田空港周辺の交通網の整備などによって地域の利便性が向上すれば、住民にとってメリットになるのではないか。

#### 【空港アクセス等の整備】

- 深夜・早朝時をはじめ、羽田空港のアクセス充実に取り組んでほしい。
- 空港ターミナルやサービスの充実、24時間化を進めてほしい。

### 将来的な対策

#### 【滑走路の整備等による飛行経路の見直し】

- 滑走路の新設や既存滑走路の延伸、配置の見直しなどによって、将来的には更なる影響の軽減を図ってほしい。

#### 【将来動向の見極め】

- 将来的な需要や社会動向の変化に対応できるように、継続的に検討を行い、その時々状況に応じて計画の見直しをしてほしい。

- 現飛行経路に関するより詳しい情報がほしい。
- 騒音の範囲や想定値を、より詳細に示してほしい。

- 音や経路、高度などについて、現在示されているものよりもっと細かく地域別の詳細情報がほしい。

- 騒音や安全対策などの説明を更に充実してほしい。

- 天候や風向きによる運用割合、時間帯、飛行回数などの詳細な情報がほしい。

- 安全性に対する不安を払拭できるようなデータを示してほしい。
- 説明資料で示されているデータの算出根拠を教えてください。

- 事故発生や被害想定などリスクに関するデータや、万が一の事故時の対応を教えてください。

- 都市上空を飛行経路とする他都市の事例について、飛行状況や周辺対策などを含めて教えてください。

- 環境影響に関する情報を教えてください。たとえば、環境影響調査や環境アセスメントなどを示してほしい。

- 高度引き上げに伴う新飛行経路の一部修正の経緯やメリット、音や高度などがどのように変わるのかについて詳細な情報がほしい。

- 新飛行経路の提案の背景について、より詳しい情報がほしい。

- 防音工以外に個人でできる騒音対策の情報を示してほしい。

- 施設整備とは具体的に何をすることを示してほしい。

#### 【わかりやすさ】

- 住民にとってわかりやすい情報提供を心がけてほしい。

- 説明内容がよくわかった。理解できた。

- 騒音影響の評価指標をLden（24時間平均）にすることで、影響範囲を意図的に狭めて見せているのではないか。

#### 【表現方法の工夫（音や映像等による再現など）】

- 想定される音を体験したことで影響が判断できた。不安が解消できて良かった。

- 飛行機が近くを飛んでくる状況やもっと経路から離れた場所での音、家屋内での聞こえ方など、実際に近い様々な状況を再現してほしい。

- 映像を見ることができればよいが、より実際の見え方に近づけてほしい。

- ヘッドホンだけでは実感がわかない。実際の音を聞いてみたいので試験飛行（テスト飛行）をしてほしい。

- 説明資料は、表現や文字の大きさにも配慮してほしい。

- 飛行機の見え方がわかる映像などの配布もできる様にしてほしい。

- 現飛行経路下で類似の状況を体験したいので、場所の情報を教えてください。

- ヘッドホンでは実際の音を感じるには十分ではないので、体験ブースを作ってください。

#### 【方策策定および運用開始以降の取り組み】

- 決定された方策の内容（飛行経路、高度、便数、騒音値など）については、引き続き情報を提供してほしい。

- オリンピック終了後も新飛行経路が継続されるのを知りたい。

### その他

- 正確な情報を基に住民が判断できるよう、マスコミには中立的に報道してほしい。